

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 48 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日時 2011 年 8 月 30 日 (火) 13:30~14:40
2. 場所 (独) 原子力安全基盤機構 別館 11A, 11B, 11C 会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略) (開始時)
(出席委員) 有富 (部会長), 加藤 (幹事), 天野, 内山, 金木, 大久保, 川上, 木倉, 櫻井, 坂下, 白井, 仙波, 高橋, 仲神, 新堀, 丸岡, 柳原, 山本 (18 名)
(代理出席委員) 東 利彦 (関西電力(株)/浦上代理) (1 名)
(欠席委員) 河西副部会長, 重入, 杉浦, 長崎, 中島, 深澤, 藤田 (7 名)
(欠席常時参加者) 菊池 (1 名)
(説明者) 川上 (輸送容器分科会委員)
溝渕 (輸送容器分科会常時参加者)
北島 (LLW放射能評価分科会幹事)
本山 (LLW放射能評価分科会委員) (4 名)
(傍聴者) 池田, 遠藤, 久保 (3 名)
(事務局) 谷井
4. 配付資料
 - FTC48-1 第 47 回原子燃料サイクル専門部会議事録 (案)
 - FTC48-2 人事について (サイクル専門部会)
 - FTC48-3 5 年毎の既存標準改定の要否の検討結果の書面投票結果について
「収着分配係数の測定方法—深地層処分のバリア材を対象とした測定方法の基本
手順: 2006
 - FTC48-4-1 原子燃料サイクル専門部会第 2 回目投票結果について
「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び
検査基準: 2006」改定
 - FTC48-4-2 意見
 - FTC48-5-1 原子燃料サイクル専門部会投票結果について
「ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順:
201X (案)」
 - FTC48-5-2 「ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順:
201X」に対する原子燃料サイクル専門部会 書面投票時の委員のご意見への対応(案)
 - FTC48-5-3 ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順: 201X
(原子燃料サイクル専門部会書面投票後の改定案)
 - FTC48-6 原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況
 - FTC48-7 標準委員会の活動状況

参考資料

- FTC47-参考 1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿

5. 議事内容

(1) 出席者の確認

開始時、26名の委員のうち、代理委員を含め19名の出席があり、成立に必要な委員数(18名)を満足している旨が事務局から報告された。

(2) 前回議事録の確認

前回議事録(FTC47-1)が承認された。

(3) 人事について(専門部会人事)

事務局から、FTC48-2に沿って、中津委員、櫻井委員の退任の報告がされた。

事務局から、FTC48-2に沿って、天野委員(2011.12~2013.11)、仲神委員(2011.10~2013.9)の再任について報告され、承認された。

(5) 「収着分配係数の測定方法—深地層処分のバリア材を対象とした測定方法の基本手順：2006」5年毎の既存標準改定の要否(不要)の専門部会書面投票結果について

事務局から、FTC48-3に沿って、「収着分配係数の測定方法—深地層処分のバリア材を対象とした測定方法の基本手順：2006」の5年毎の標準改定は不要とする検討結果についての原子燃料サイクル専門部会書面投票の結果、可決されたことが報告された。このまま次回標準委員会へ報告することが承認された。但し、FTC48-3中「意見付き保留」、「意見付き反対」の記載をそれぞれ「保留」、「反対」に訂正する。理由は賛否を問う投票であり、意見は不要であるためである。

(6) 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準(改定版)」2回目の原子燃料サイクル専門部会投票結果について

事務局から、FTC47-4-1~2に沿って、「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準」の2回目の原子燃料サイクル専門部会投票結果、可決されたことが報告された。このまま次回標準委員会へ本報告することが決議された。但し、FTC48-4-1中「意見付き保留」、「意見付き反対」の記載をそれぞれ「保留」、「反対」に訂正する。理由は賛否を問う投票であり、意見は不要であるためである。

(7) 「ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順(案)」原子燃料サイクル専門部会投票結果について

事務局から、FTC47-5-1に沿って、「ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順(案)」の原子燃料サイクル専門部会投票結果、可決されたことが報告された。

続いて、LLW放射能評価分科会の北島幹事から、「ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順(案)」の原子燃料サイクル専門部会投票での意見対応について報告された。

審議の結果、意見対応に対する質疑内容及び本会議で提出されたコメントを反映した内容を反映した修正は編集上の修正であり、本会議で提出されたコメントを反映した内容を標準委員会へ報告することが決議された。

主な議論は、以下のとおりである。

- No.5-3 で、平均値としているものが幾何平均値か対数平均値かの明示がない、幾何平均値と算術平均値には明らかに差があるので、誤解のないように明確に示すべきである。
→標準案で記載の“平均値”は、通常は算術平均値を示すものであり、誤解のないように表現を見直す。
- 標準案 p51, 52 に示されている濃度分布条件設定で、説明記載内容と例示のイメージ図の説明が判りにくい、すなわち、“検出下限値を平均値とし”が“検出下限値の平均”と読めるので不明瞭、検出下限値が複数ある場合の取扱いが不明瞭、検出下限値データとは正しい表現か、例4と例3は同じようなことをダブって示しているように見えるなど、適切な表現とすべき。
→整合の取れる表現に見直す。

6. その他

今回は平成 23 年 12 月 1 日（木）と仮決めされた。